



## 観察記録・説明等

[2016. 6. 8]

・昨年の10月27日にイタドリが繁茂する堤防法面の表層を5cm程度を剥ぎ、新しい土を補充し整形してからジオネットを布設して野芝を張った箇所が、施工時期が悪かったのか、ジオネットの影響なのか芝が生育できなかったため、今年の5月24日に芝だけを張り替えた。左の写真は芝を張り替えてから14日経過した状況です。(2016年6月8日撮影)。

・芝の張り替え前に10本発芽していたので、合計で23本となり1m<sup>2</sup>当り4本の発芽率となります。この実験場の近くの1.5mmのジオネットの発芽率は27本/m<sup>2</sup>なので約7倍の違いになります。今後の変化を注視していきます。(網戸用のネット1.2mm×1.0mmの発芽率は昨年秋で11本/m<sup>2</sup>、今春は15本/m<sup>2</sup>)

・また、在来法面のイタドリは190cmに伸びていました。そして、張り替えた芝は根付きはじめているので、ジオネットが芝の育成に支障がないことが明らかになりました。

・芝の張り替えて2週間のロスが発生しましたが、秋まで観察を続けていきます。

・下の写真は今年の5月24日に枯れた芝を剥ぎ取った状態です。ジオネットの下面には、イタドリの地下茎が地表面に出不れず行き場を失い渦を巻いているのが多くありました。

